

堺市新型コロナウイルス対策本部会議

1、これまでの経過

① 国内での患者発生状況

- (1 例目) 武漢市から帰国した 30 代の男性 神奈川県
- (2 例目) 武漢市からの 40 代の男性 東京都
- (3 例目) 武漢市からの 30 代の女性 東京都
- (4 例目) 武漢市からの 40 代の男性 愛知県

空港では、サーモグラフィーを用いた検疫体制のほか、中国からのすべての航空機内でアナウンスし、帰国者、入国者に対し、検疫ブースでの自己申告を呼びかけ。

② 世界保健機関(WHO)緊急委員会(1/24 開催)の発表

「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」には該当しない。

③ 大阪府新型コロナウイルス対策本部の設置

別紙1参照

④ 1月28日 国が指定感染症に指定

今回の新型コロナウイルス感染症に関しては、感染症法・検疫法に基づく指定感染症・検疫感染症に指定された。

2、本市の取組状況

① 本市での取組み状況

【庁内関係部局との情報連携】

- ・ 危機管理室、消防局、教育委員会、子ども青少年局、社会福祉施設所管課、各区保健センターなどとの情報共有

【庁外関係機関との情報共有】

- ・ 市立総合医療センターとの情報共有及び対策打ち合わせ
- ・ ベルランド病院などの市内医療機関との情報共有
- ・ 堺市医師会会員への情報提供

【医療機関から保健所への連絡】

- ・ 24 時間いつでも連絡が入る体制を整えている

【市民等への広報・啓発】

- ・ 市ホームページでの啓発とトップページへの常時掲載(別紙2参照)
- ・ ツイッターの活用

【外国語への対応】

- ・ 大阪府の中国語、英語での啓発ポスターを掲げている府ホームページへリンク
- ・ 利晶の杜、大仙公園観光案内にポスター掲示依頼(中国語)

【市内宿泊施設への注意喚起】

- ・ 市内宿泊施設に情報提供と注意喚起を実施

② 堺市衛生研究所での新型コロナウイルス検査の実施

- ・ ウイルス検査は現在、東京都にある国立感染症研究所のみで実施しているが、全国 83 の地方衛生研究所でも検査が可能となるよう国において体制を整備中。
- ・ 検査試薬や検査マニュアルなど順次届きつつあるので、早晚堺市衛研でも実施可能。

③ 疑いの患者の対応フロー

別紙3参照

3、今後の対応

- ・ 指定感染症となった場合、入院は感染症指定医療機関に限定される。
- ・ 当面は、大阪市立総合医療センター(32 床)、りんくう総合医療センター(6 床)、堺市立総合医療センター(6 床)の計 44 床が入院可能ベッドである。

4、その他